

21世紀かながわ円卓会議  
—21世紀を構築する—  
第2回  
「世界を走る亀裂—グローバル化に何ができるか」



2006年3月17日～18日  
湘南国際村センター（神奈川県葉山町）

財団法人かながわ学術研究交流財団  
Kanagawa Foundation for Academic and Cultural Exchange (K-FACE)

## ねらい

「9.11」事件で幕を開けた 21 世紀も 5 年を経過したところですが、私たちはこの新世紀を「構築し始める」にあたって、どのような認識に基づき、何に重点を置いて人類と地球環境の未来を築いていけばよいのでしょうか。この「21 世紀かながわ円卓会議」では、日本に求められる役割を内外の有識者による透徹した討論をもとに、21 世紀への課題と展望を発信することを目的とした 3 ヵ年事業です。

第 2 回目にあたる今年、世界の政治経済システムの高度化、即時化と、抗しがたいグローバル化の大波の一方で生まれた国家階層間、あるいは国家間、地域間などの格差の増大をどう食い止め、社会に成長をもたらすことができるか議論を深めていきます。

### About K-FACE

#### ■ K-FACE とは

財団法人かながわ学術研究交流財団 (K-FACE) は、湘南国際村を拠点に、地域から世界に貢献することを目指し、地域社会の発展に寄与するため、人文社会科学分野を中心とする研究事業を推進するとともに、県民を対象とする人材育成・交流事業を展開する財団法人です。

グローバル化が急速に進展する現代では、グローバルに考え、行動する人材が数多く必要となり、地域社会においても国際社会を見据える『目』を養う必要が高まっています。また、現代は、さまざまな問題を、地球規模で考え地域で解決する時代に入ったとも言われています。こうした考えのもと、K-FACE は「地球の未来、人類の未来を地域の切り口で考える」を基本理念に据え、これからも人文・社会科学分野の研究、国際的な視野を持つ人材の育成、国際交流、地域環境問題に関する事業を実施してまいります。

#### ■ 所在地

〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39  
電話 046 (855) 1820 FAX 046 (858) 1210  
URL <http://k-face.org>

#### ■ 設立

1992 年 10 月

傍聴に当たりましては、会場内において次のことをお願いいたします。写真を撮影される方は会議開始後 5 分間程度でお願いします。会議中の携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。食べ物の持込はご遠慮ください。(ただし、飲物は結構です。)

21世紀かながわ円卓会議—21世紀を構築する—  
第2回『世界を走る亀裂—グローバル化に何ができるか』

プログラム

※12:02 逗子発バス 12:30 頃センター到着  
12:47 汐入発バス 13:20 頃センター到着  
13:01 逗子発バス 13:30 頃センター到着

**3月17日(金) 13:30~17:30**

- 13:30 開会挨拶 福原義春(かながわ学術研究交流財団理事長)  
13:40 趣旨経過説明 樺山紘一(東京大学名誉教授、印刷博物館館長)  
14:00 ■基調講演「A rift running through our World: Bridging the Divide  
Roles of Universities (世界を走る亀裂—不公平に世界はどう立ち向かうか  
大学の役割)」  
ハンス・ファン・ヒンケル(国際連合大学学長)  
15:00 冒頭発言  
【討議者】五十嵐武士(東京大学大学院法学政治学研究科教授)  
15:20 コーヒーブレイク  
15:40 セッション1「世界の公正の現状」

基調講演で提起された世界の「不公平」「不公正」の現状と原因について、日本の視点も加え、さらに問題点を掘り下げる。各国、国内諸階層、地域、人種、宗教、政治体制、所与の地理的環境などによって、色々な格差が存在するが、その実態や原因は何か。またグローバル化はこうした傾向にどう対処できるのか。

【講師】藤原帰一(東京大学大学院法学政治学研究科教授)  
【討議者】小浜裕久(静岡県立大学大学院国際関係学研究科教授)ほか

- 16:10 討議  
17:20 1日目終了  
\*\*\*  
17:45 汐入行バス発  
17:50 逗子行バス発

※8:09 汐入発バス 8:50 頃センター到着  
8:23 逗子発バス 8:50 頃センター到着  
9:16 逗子発バス 9:40 頃センター到着

**3月18日(土) 9:45~17:30**

- 9:45 前日のまとめ 樺山紘一(東京大学名誉教授、印刷博物館館長)  
10:00 セッション2「環境保全か経済開発か—環境と貧困の悪循環をどう抜け出すか—」

強いられたモノカルチャー、厳しい自然、市場支配力の欠如などにより、一次産品に頼る途上国は、環境悪化と貧困の悪循環からなかなか抜け出せない。その上に災害や国内政治・経済システムの未整備、相次ぐ内乱などにより、グローバル化の中で状況が悪化する国が続出している。そこから抜け出す方途はないのか。

【講師】諸富 徹(京都大学大学院経済学研究科助教授)  
【討議者】鈴木佑司(法政大学法学部教授)ほか

- 10:30 討議  
11:15 休憩  
11:30 セッション3「民主主義と人権」

西欧型民主主義と人権の尊重は、世界共通の徳目として確立されたものだろうか。人々の国民国家の国境を越える移動が、ますます盛んになる現在、よりよい暮らしを手に入れるための機会の平等は、だれによって、どう担保されるべきか。国連か、超大国か。

【講師】伊豫谷登士翁(一橋大学大学院社会学研究科教授)  
【討議者】五十嵐武士(東京大学大学院法学政治学研究科教授)ほか

- 12:00 討議  
12:45 昼食  
13:45 セッション 4「教育・文化の断層を超えるために」

台頭するデジタル超大国のインドと中国を例に、国内で断層は広がっているのか。インフラとしての初等教育、高等教育、米欧留学生の現状と「帰国」生の将来。一般市民へのデジタル社会のインパクト。これらに続く諸国への教訓。

【講 師】竹中千春（明治学院大学国際学部教授）

【討議者】田島英一（慶應義塾大学総合政策学部助教授）ほか

- 14:15 討議

- 15:00 コーヒーブレイク

- 15:30 セッション 5「格差に向き合う思想」

総括的に、21世紀を迎えたグローバル化の現在、世界に広がりつつあるように見える「格差」を、必要悪として受け止めるか、それとも国際協力により対処すべき緊急の課題と受け止めて、新しい世紀のガバナンスを確実なものにしてゆくか、を提議する。

【講 師】福川伸次（財団法人機械産業記念事業財団会長）

【討議者】山脇直司（東京大学総合文化研究科教授）ほか

- 16:00 討議

- 16:45 総括討議 権山紘一（東京大学名誉教授、印刷博物館館長）

- 17:15 閉会の挨拶 福原義春（かながわ学術研究交流財団理事長）

\*\*\*

- 17:40 逗子行バス発

- 17:45 汐入行バス発

（敬称略）

21世紀かながわ円卓会議—21世紀を構築する—  
第2回『世界を走る亀裂—グローバル化に何ができるか』

参加者リスト

---

【モデレーター】

樺山 紘一 東京大学名誉教授、印刷博物館館長

【基調講演】

ハンス・ファン・ヒンケル 国際連合大学学長

【講師】

(五十音順)

伊豫谷 登士翁 一橋大学大学院社会学研究科教授  
竹中 千春 明治学院大学国際学部教授  
福川 伸次 財団法人機械産業記念事業財団会長  
藤原 帰一 東京大学大学院法学政治学研究科教授  
諸富 徹 京都大学大学院経済学研究科助教授

【討議者】

(五十音順)

五十嵐 武士 東京大学大学院法学政治学研究科教授  
内田 孟男 中央大学大学院経済学研究科教授  
勝俣 誠 明治学院大学国際学部教授  
小浜 裕久 静岡県立大学大学院国際関係学研究科教授  
鈴木 佑司 法政大学法学部教授  
高島 肇久 外務省参与  
田島 英一 慶應義塾大学総合政策学部助教授  
鳥井 弘之 東京工業大学原子炉工学研究所教授  
船橋 晴雄 シリウス・インスティテュート株式会社代表取締役  
山脇 直司 東京大学大学院総合文化研究科教授

\* \* \*

福原 義春 財団法人かながわ学術研究交流財団理事長

(敬称略)